



おさない かけない しゃべらない



防災の日

校長 山崎 斉

もどらない ちかやらない



長かった夏休みが明け、北小学校に子供たちの元気な笑顔と活気ある声が戻ってきました。

この夏休み期間中、私たちは自然災害の脅威を改めて突きつけられました。7月末に発生した熊本県を震源とする地震による激しい揺れ、そして8月中旬に千葉県を襲った記録的な豪雨など、連日のように報じられる被災地の様子に、胸を痛められた方も多かったのではないのでしょうか。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。これらは決して他人事ではなく、「いつ、どこで我が身に起きてもおかしくない」という強い危機感を抱かずにはいられません。

本日の2学期始業式で、全校児童に「防災の日」について話をしました。「防災の日」には、大正12年9月1日に起きた関東大震災を忘れないこと、そして台風の多い季節に備えるという意味が込められています。本校でも1学期に様々な状況を想定した避難訓練を実施しました。子供たちには、机の下に潜って頭を守る「ダンゴムシのポーズ」や、「お(おさない)・か(かけない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)・ち(ちかやらない)」の約束を指導し、いざという時に自分で考えて動く力を育てています。学校にいる時間はもちろんのこと、登下校中や放課後など、教職員の目が届かない場面で被災した際にも、子供たちが「自分の命を自分で守る」ための正しい判断と行動ができるよう、今後も指導を重ねてまいります。

災害時の備えに「これだけで安心」という終わりはありません。ぜひこの機会に、ご家庭でもこの夏のニュースを振り返りながら、「もし放課後に大きな地震が来たらどうする?」「大雨で道路が水浸しになったら、どこに避難する?」と、お子様と具体的な行動について話し合ってみてください。

学校と家庭、そして地域が一体となり、大切な子供たちの安全・安心を守るため、日頃からの備えと意識の向上に、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

【校長の夏休み】

中学生の娘が所属する合唱部の応援で、県内で開催された合唱コンクールを観覧してきました。8月7日(金)に行われた「NHK全国学校音楽コンクール」埼玉県本選。予選を勝ち抜いた16校がステージに集い、課題曲と自由曲でその歌声を競い合いました。今年の中学校の部における課題曲は、世界的なピアニストである反田恭平さんが作詞作曲を手掛けた「花へ。」という楽曲です。(詳細はこちら→ [第93回 課題曲 - NHK](#)) どの中学校の演奏も本当に素晴らしく、一音一音に込められた想いや熱量に何度も胸が熱くなりました。この日のために積み重ねてきた練習の成果を全て出し切ろうと、互いの声を聴き、心を一つにして全力で歌う子供たちの姿は、観客の心に深く響き、大きな感動を与えてくれました。今後も様々な合唱のイベントに足を運び、美しいハーモニーを楽しみたいと思っています。

